

(臨床研究に関する公開情報)

埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、末尾の【問い合わせ先】へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】

食道がん患者に対する入院プレハビリテーションが運動耐容能に及ぼす影響

【研究責任者】

リハビリテーション科理学療法士 佐藤直也

【研究の背景】

近年、手術後の運動耐容能（体力）向上に向けて、入院前から手術前までの期間に運動耐容能を高め、手術後の合併症予防や早期退院を図るプレハビリテーションが行われるようになってきています。がんのリハビリテーション診療ガイドラインのなかでも消化器がん患者さんで腹部手術を行う予定の患者さんに対して、手術前にリハビリテーションを行うことが提案されており、食道がんのようによりリスクや侵襲性が高い手術、もしくはもともと運動耐能が低い患者さんでは有効である可能性が示唆されています。

そこで当院でも侵襲性が高く術後合併症のリスクが高い食道がん患者さんを対象とした入院プレハビリテーションを導入し、運動耐容能に及ぼす影響を明らかにすることを検討しています。

【研究の目的】

手術予定の食道がん患者さんに対して入院プレハビリテーションを導入することで、手術前までの期間に運動耐容能（体力）を高め、退院時の運動耐容能低下が予防できるかを検討します。入院プレハビリテーションを行うことが運動耐容能に及ぼす影響を経時的に検討し明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2022年10月1日から2024年9月30日の間に食道がん手術予定の患者

●研究期間

研究承認日から2024年9月30日

●利用する情報：この研究では下記のカルテ情報を収集します。

年齢、性別、身長、体重、診断名、在院日数、心肺運動負荷試験検査結果、呼吸機能検査結果、筋力、6分間歩行試験、栄養状態、術後合併症の有無

【研究組織】

この研究は、当院のみで実施します。

【情報の管理】

この研究に関わって収集される情報は研究責任者が管理し、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。収集した情報は、解析する前に氏名・カルテ番号等の研究に不要な情報を削除し、代わりに研究用の識別符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを仮名化といいます）。識別符号の対応表と仮名化した情報は、研究責任者が院内の鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も氏名などの個人情報明らかにしないようにした上で公表します。

【問い合わせ先】

国立病院機構埼玉病院

リハビリテーション科 理学療法士 佐藤直也

電話 048-462-1101